

平成28年度 第1回 認知症対応型通所介護事業所 みぎわホーム

運 営 推 進 会 議 議 事 録

開催日時 平成28年9月27日(火) 午後1時～2時30分

開催場所 みぎわホーム 会議室

1、開会

2、開催 挨拶 みぎわホーム 中村副施設長

3、町田市 ご挨拶 町田市職員 T様

4、本日の構成員 (受付簿参照)

5、議題

- | | |
|--|--------|
| (1) 平成28年度 活動報告・活動予定・利用者状況
日頃の活動スライドショー観賞 | P 2～4 |
| (2) 外部評価(第三者評価)受審について (資料参照) | |
| (3) 地域との連携・交流について
(ベルマークについては別紙) | P 5～6 |
| (4) ミス・トラブル・苦情・事故報告 | P 7～8 |
| (5) 運営推進会議規程及び構成員 | P 9～13 |

6、構成員からのご意見ならびに要望・助言

利用者家族 M様

認知症により、デイから帰ってきてても記憶はないが、その時本人が楽しめていればいいと思う。デイやショートでみてもらって助かっている。

連絡帳(ご家族と職員間でご様子・連絡等を行うノート)は細かく書いてもらっていて様子がわかる。

利用者家族 Y様

最初はデイに通うのが嫌だと言っていたが、今では楽しみ通っている。認知症がゆっくりとではあるが進んできているということを受け止めている。

ショートステイは定期的に利用したほうがいいのか。→ケアマネに相談してみてもいい。

利用者 I様

職員はお客様として迎えているから、手厚く接してくれるが、もう少し、本人がやれることをやらせたほうが本人のためにも良いと思う。例えば、利用者の中には家事のプロをしてき

た人がたくさんいらっしゃる。調理や洗濯たたみなど、仕事・役割として喜んで行う人もいるので、いろいろとやってみた方が良い。

利用者家族 K 様

近所に認知症の方がいて心配である。

→担当地域があるので、そこの高齢者支援センターに相談すると対応がスムーズです。介護サービスを利用することが最終的な目的ではなく、その方にとってベストな方法を考えていくことが必要です。(高齢者支援センター職員)

利用者家族 Y 様

主人がデイを利用している頃は、ホームでの様子が良く分からなかった。家族交流会も参加したかったが、主人が自宅にいるときは出掛けられないので、参加できなかった。

利用者家族 T 様

父がデイに通う事で、人と交流し、言葉が以前より聞き取りやすくなってきた。身体機能の維持向上や、役割を持って、やる気につながれば良いなど思っている。フロアで過ごす間、座っている時間が長い様子なので、もう少し、運動や役割を通して、身体を動かす時間を作ってほしい。

芙蓉園職員 S 様

芙蓉園のデイは一般型と認知症対応型の部屋が分かれている。

空間がわかれているメリットデメリットは、

メリット →個室空間なので、利用者に寄り添いやすい。些細な変化に気づきやすい。顔なじみ馴染みの関係、馴染みの空間でケアができる。

デメリット →部屋自体を認知症の人が入る部屋だと認識されやすい。

老人会 K 様

デイ以外で、みぎわホームではどんなサービスを受けられるのか、どんな機能を果たしているのか。地域の皆はまだまだ知らない。

→特別養護老人ホーム、一般型デイサービス、ショートステイ、ヘルパーステーション、ケアマネージャー事業所、地域連携室、などがあります。事業計画書をご参照下さい。

M 町内会 K 様

介護相談の場をみぎわホームと作っているが相談件数はまだ少ない。何相談したらいいのかもわからないのでは。座談会や運動教室のようなものデイサービスもたくさんあり、お客の奪い合いとなっていると思う。利用者を獲得するためには、特色が必要である。

S ケアマネージャー

デイに関しては、利用者様に対しては、可能な限りの情報提供をして対応してもらっている。ただ、リーダー層に伝えても他の職員に伝わっていないことも頑張ってくれていると思う。職員の介護力に関しては、もっと勉強して行ってほしい。

町田市社会福祉協議会 T 様

社会福祉協議会は、地域福祉、地域作りを担っている。地域の困りごとや、元気なシニアの人にどのように活躍してもらえるか、地域の皆さんと共に考えていきたい。施設や民生委員と連携して情報を共有していきたい。

高齢者支援センターE 様

認知症対応型の現在の平均利用者数を教えてほしい。

→ 平均は一日約7人です。

若年性の方はなかなか馴染めないのではないかと。

→ 若年性の方は、通い始めてまだ浅いのでまだ様子を見ている状態です。他利用者との年齢差は、ご本人も理解されていますが、職員も様々な年齢の人がいるので、利用者と職員を含めて、陽だまりという空間を良い雰囲気にしていければと思います。

来年より、総合事業が始まります。高齢者支援センターが窓口となります。

10月は町田市介護予防月間となっています。芙蓉園にて、10月2日(日)に地域福祉まつりが開催されるので、よろしくお祈りします。

町田市職員 T 様

他施設の運営推進会議は、今回のような会議形式ではなく、テーブルをコの字型にする座席配置になっているところが多かった。丸くなっているほうが、意見も出やすいのではないだろうか。

7、閉会 挨拶

8、閉 会

その後、希望のある方に通所介護フロアを見学して頂く。